

# 1. プロトコール

## プロトコールとは？

「エチケットは、個人間の儀礼作法であるが、  
プロトコールは、国家間の儀礼作法といえる。」

(友田二郎著「エチケットとプロトコール」(昭和39年))

意義: 無用の混乱・争いを避け、円滑な外交の環境を提供

原則:

- 国の大小に関係なくすべて平等に扱う。
- 駐日大使の序列は、着任順が原則。
- 誰もが納得するルールに従う。
- 相互主義と異文化理解。

## 2. 外交使節団・領事機関の接受と派遣

外交使節団・領事機関は、外交関係の基礎。  
その接受・派遣もルールに則り実施。

- 外交関係に関するウィーン条約(1964.6 批准)
- 領事関係に関するウィーン条約(1983.8 批准)

- ・設置:相互の承認
- ・任務:派遣国の代表
- ・特権免除:身体の不可侵、公館の不可侵、  
裁判権免除、免税等

## 外交使節・外交官の接受

### ➤ 外交官、領事官等の接受

- 到着、帰国時の支援、国内関係方面への通報
- 信任状捧呈(派遣国元首から天皇陛下宛)
- 身分証、ナンバープレート、免税手続き、便宜供与等
- 事件対応

## 我が国大使・総領事の派遣

### ➤ 大使に対する信任状、解任状

天皇皇后両陛下拝謁、皇太子同妃両殿下御接見等

### ➤ 総領事への委任状

### ➤ 特派大使(大統領就任式典参加など)への信任状

## 3. 国旗

- 国の象徴、国民統合の象徴
- 相手国の国旗に敬意を払う
- 右(向かって左)上位が原則(日本では相手国旗上位)
- 国連基準サイズ : 縦:横=2:3  
(英国、ネパール等例外もある)

刑法第92条:

「外国に対して侮辱を加える目的で、その国の国旗その他の国章を損壊し、除去し、又は汚損した者は、二年以下の懲役又は20万円以下の罰金に処する。」

## (1) 日章旗

1999年8月13日施行「国旗及び国歌に関する法律」

### ➤寸法の割り合い及び日章の位置

縦		横の三分の二
日章	直径	縦の五分の三
	中心	旗の中心

### ➤彩色

地	白色
日章	紅色

## (2) 取り扱い

- × 破損、汚れた国旗の掲揚
- × 雨天・日没後の掲揚
- × 国旗と団体旗の併揚

※半旗の掲揚→弔意の表明(各国の事情により実施)

日本: 国葬または国葬に準ずる葬儀、外国元首の逝去による国葬

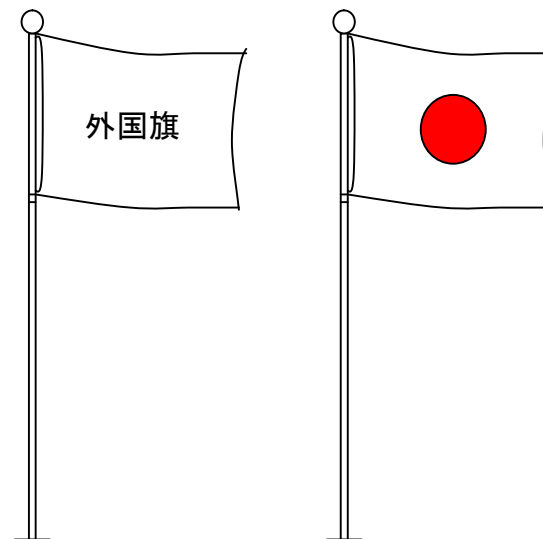
※半旗掲揚の方法: 一度ポールの上まで上げてから半旗の位置に下げ、降納する際にも、一度上まで上げてから降納する

### (3) 複数国の国旗の掲揚

#### (a) 2カ国の場合

日本では、外国に敬意を表すという意味から、**右(向かって左)上位に外国国旗を、左(向かって右)下位に日本国旗を掲揚する。**

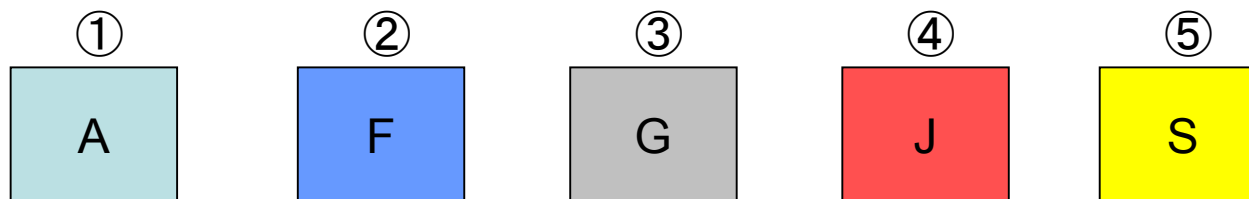
なお、自国旗を優先して上位に掲揚する国(アメリカ合衆国、カナダ、フィリピンなど)もある。



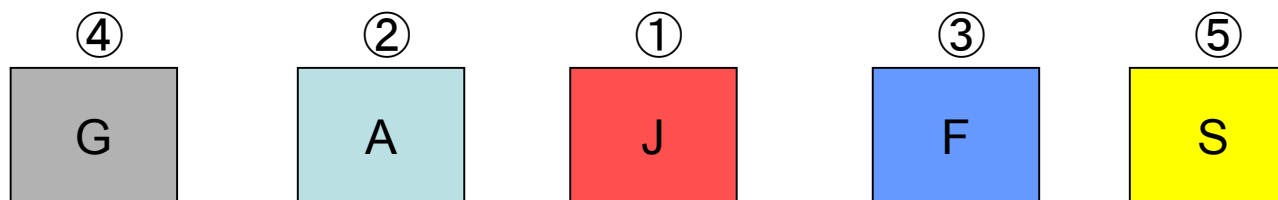
## (b) 3カ国以上

下図のように2通りの掲揚の仕方がある。

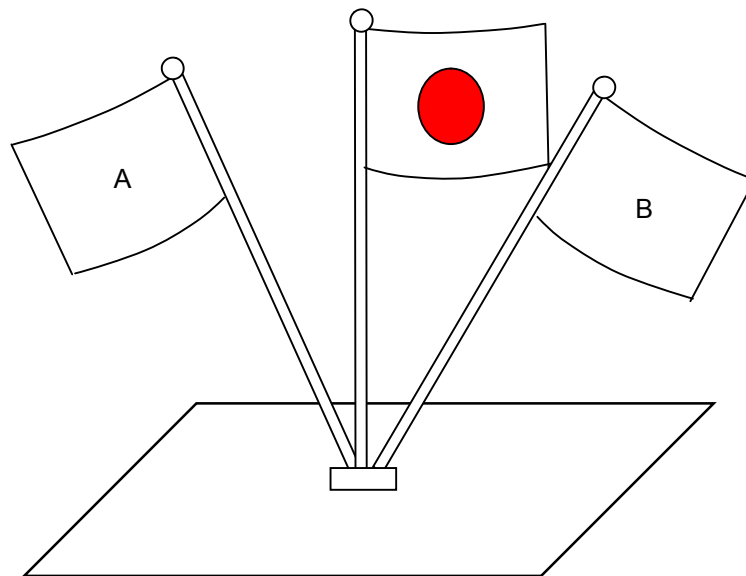
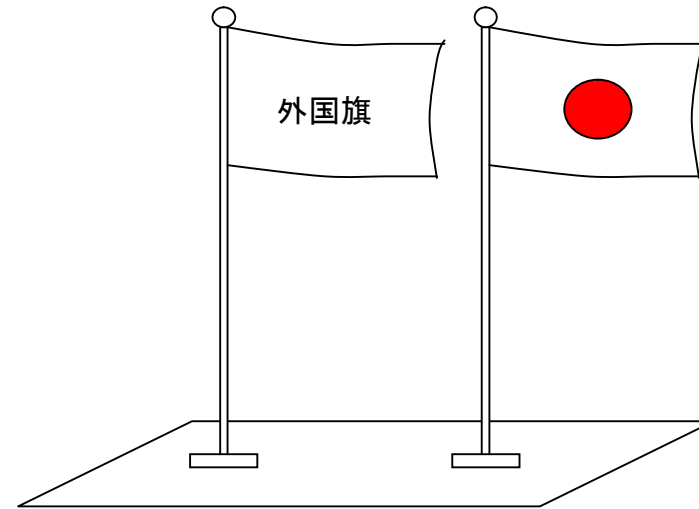
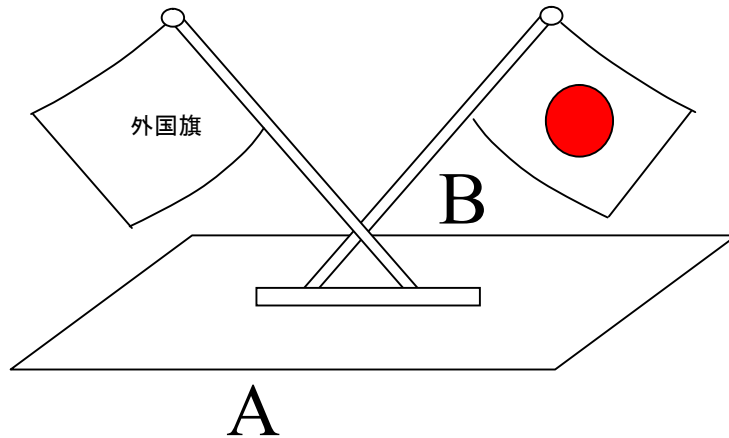
イ) 国旗を**国連方式による国名アルファベット順**に従って、向かって左側から右側へ掲揚する。



ロ) 国の数が奇数の場合は、日本国旗を中央に配置し、外国国旗を**国連方式による国名アルファベット順**に中央より向かって左側から左右交互に掲揚する。

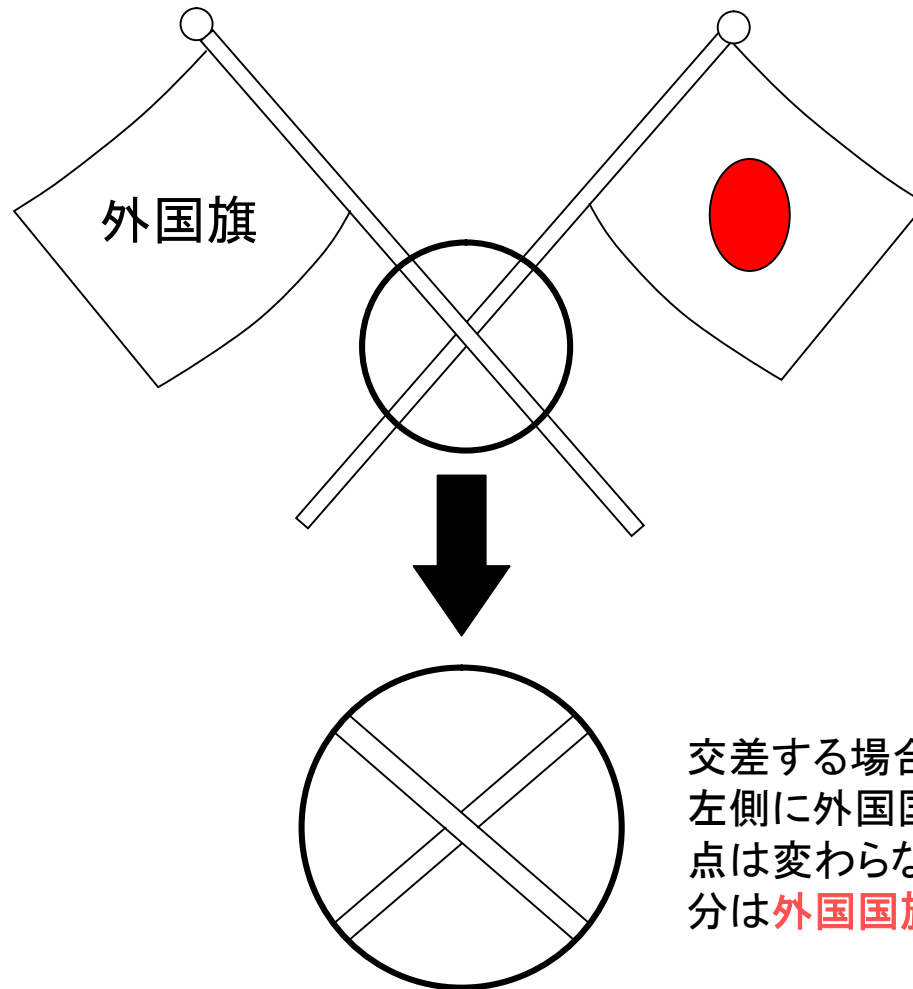


## (4) 卓上旗 左上図中のA(手前側)は外国側、B(奥側)は日本側座席



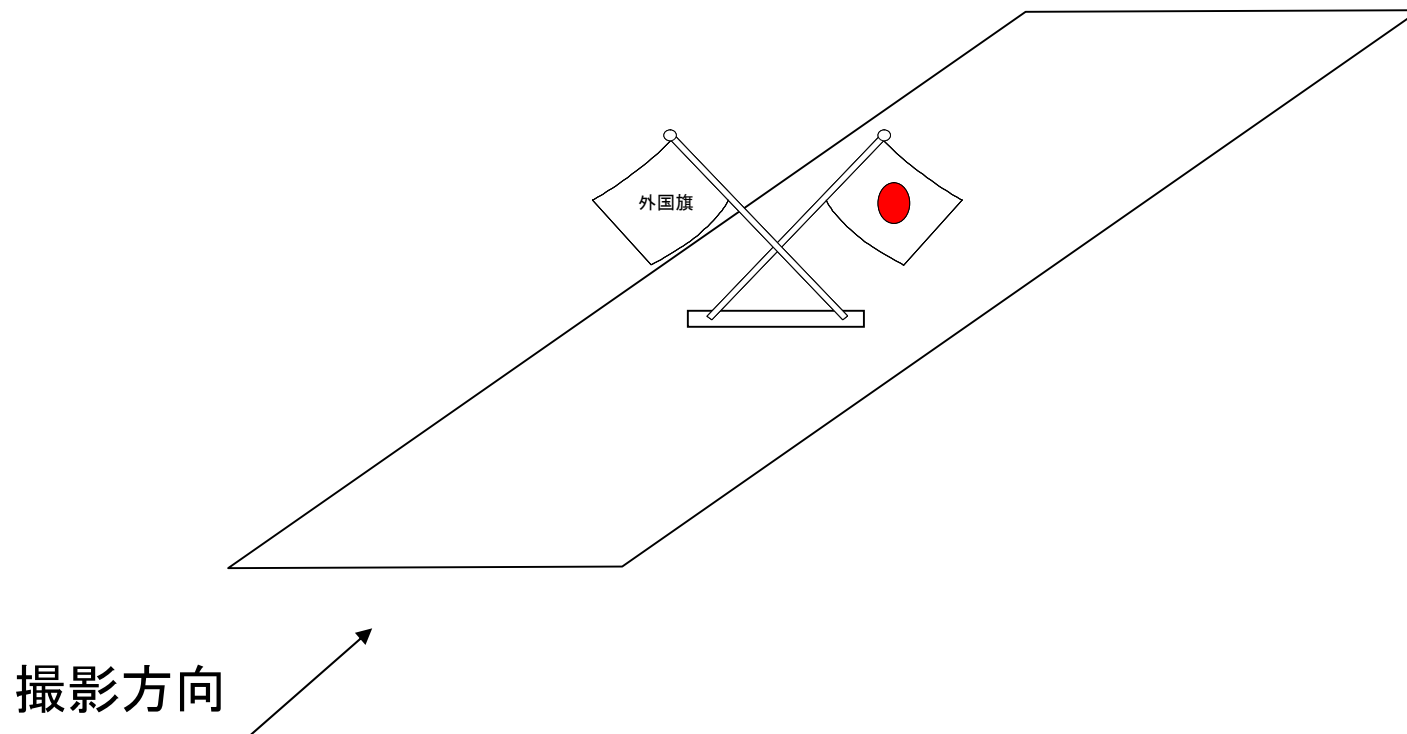
3カ国の場合、左図のように、日本を中心  
心に、向かって左から国連方式による国  
名アルファベット順 に配置する。





交差する場合の国旗の位置は、向かって左側に外国国旗、右側に日本国旗となる点は変わらないが、ポール<sup>①</sup>の交差する部分は**外国国旗のポールが手前**になる。

★ 記録用写真撮影や取材(TV・写真)がある場合は、カメラ写りを優先し、  
卓上旗を下のように配置するのが良い。



## 4. 席次、テーブル・プラン

### ➤ 席次 (precedence) の基本

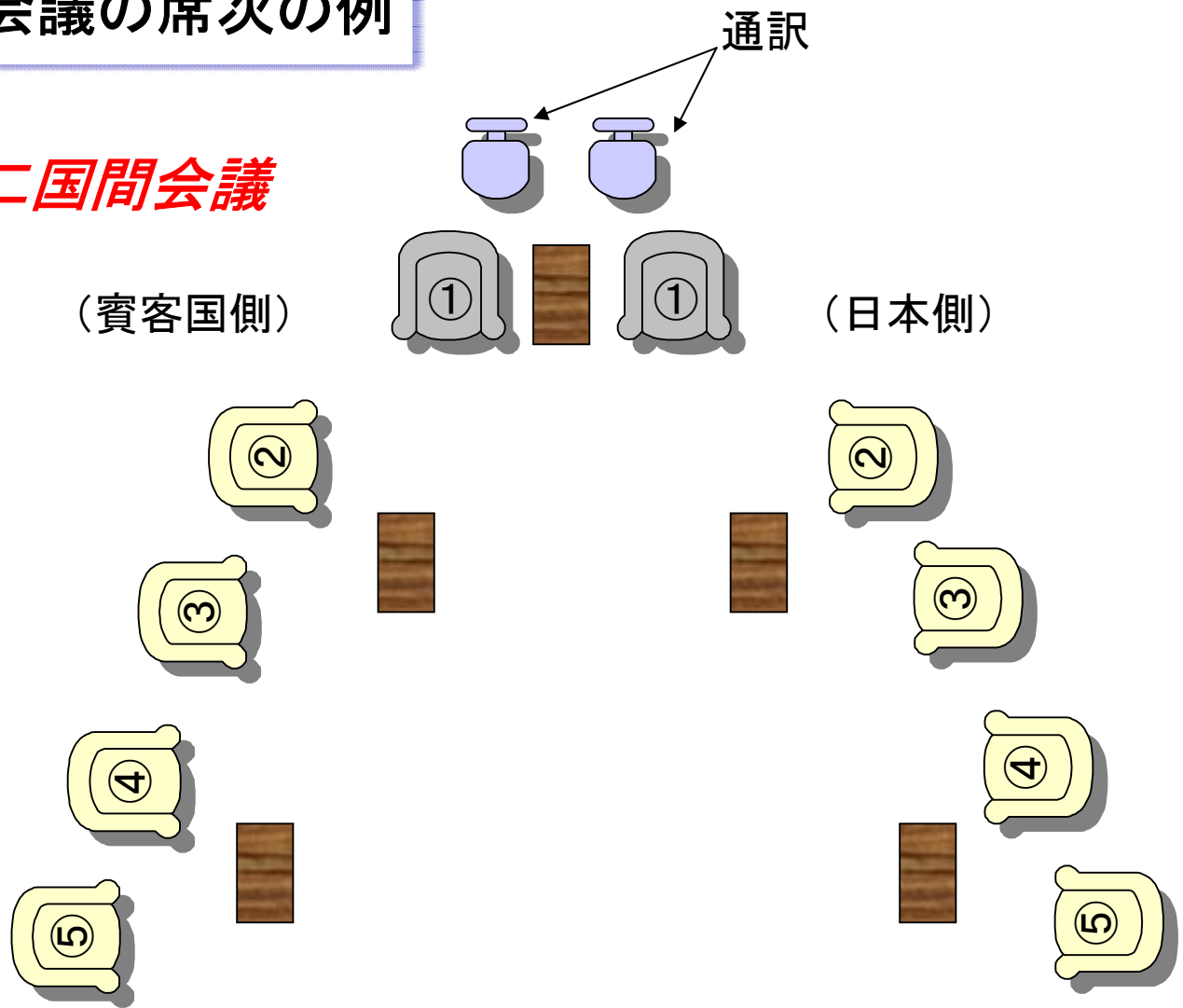
公式席次 (戦前の宮中席次は、戦後廃止)

儀礼席次

### ➤ 基本を元に出席者に応じて決定

# (1) 会議の席次の例

## (イ) 二国間会議



— 入口 —

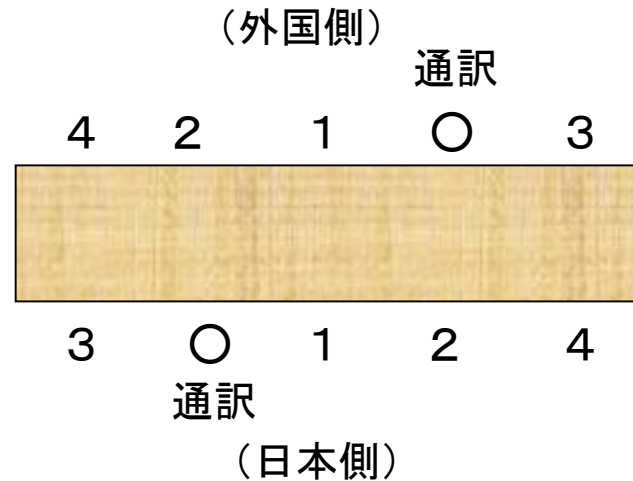
## (ロ)ワーキング・ディナー / ワーキング・ランチ

(a)通訳なしの場合



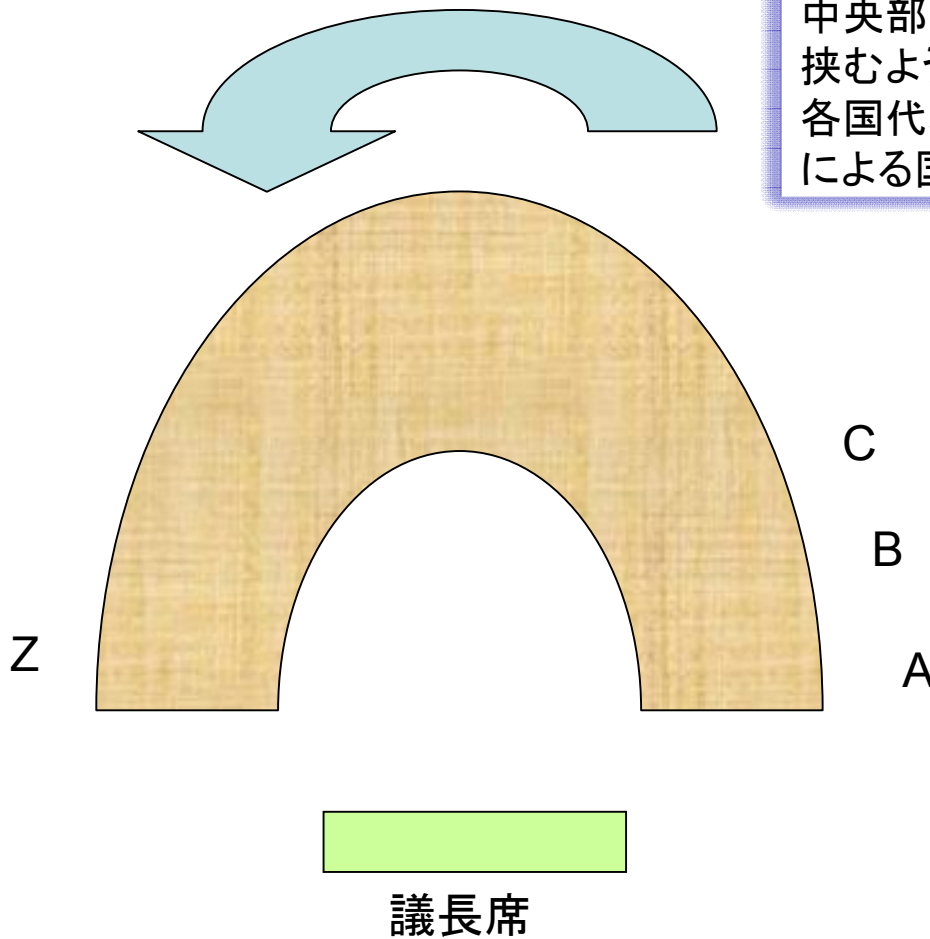
(b)通訳ありの場合

通訳は席次には含めない。なお、通訳の席については、下図以外に  
対面席とする場合もある。



## (ハ) 国際会議

### ➤ 国際機関の主催する多数国間会議でよく用いられる形



中央部に議長団のテーブルを置き、それを挟むようにU字型に各国代表席を配する。各国代表は議長から見て右側から国連方式による国名アルファベット順に座る。

#### 【留意点】

##### ・発言順

- 冒頭の演説などは事前に調整。
- 会議中は議長補佐が挙手の順番をメモ。

##### ・席数

- 基本は各国平等。
- 応用型は、慎重に。

## (2) 会食の席次の例

### (イ) 男女同席の会食(社交)

(注) ○は女性

#### (a) 長卓

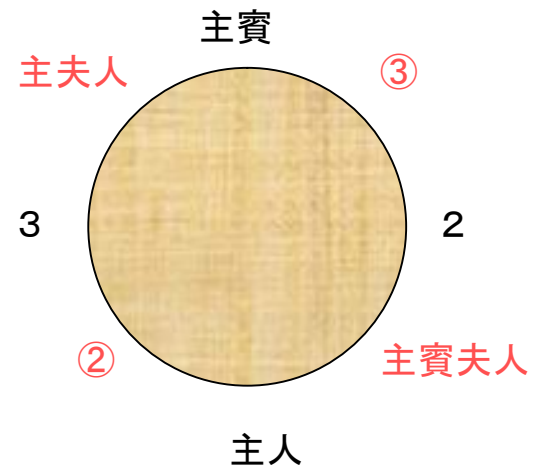
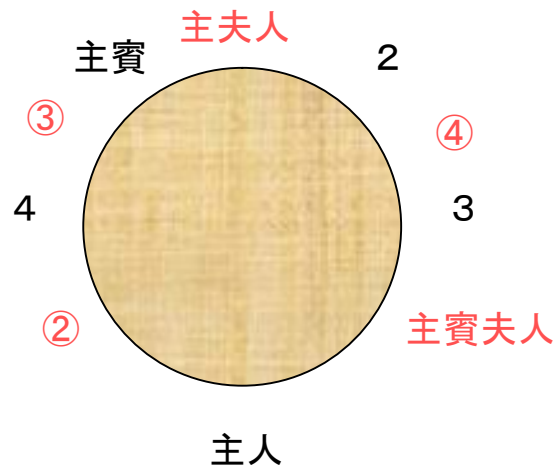


※ 客が男女同数の場合、テーブルの一方の端が女性になってしまうので、男性客と入れ替えて、女性同士隣り合わせにする席を作っても良い。  
(上図の⑦・5、6・⑧を入れ替える)

◆ 主人・主夫人が主賓夫妻に席を譲る場合



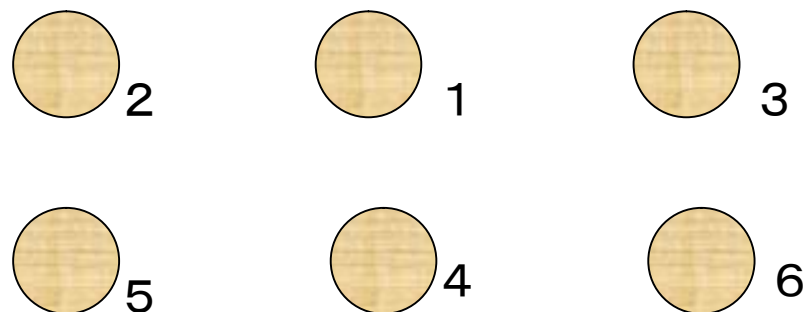
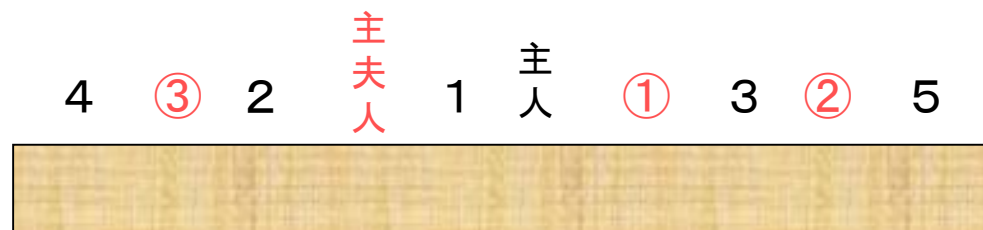
(b) 円卓



※右図は、主夫人が主賓男性に自席を譲り、男女交互に配席した例



### (c) 長卓と円卓の組合せの宴席



※ 円卓の順位は、上図の順とするが、1のテーブルに順位の高い人が固まるのを避けるため、プロトコール順に1、2、3と各テーブルに振り分けていくことも多い。各円卓での席次は、おおむねメインテーブルに近い席の順。

**(口) 男性のみもしくは女性のみ会食(社交)**

(注) 我が方及び先方の人数が同数の場合。○は先方。



## 5. 敬 称

- 基本**
- ▶ 相手の名前を間違えないこと
  - ▶ 役職に応じて決まった敬称がある(国により異なる)

### (1) 主な敬称

- ・His/Her Majesty    ・His/Her (Royal) Highness    ・His/Her Excellency
- ・The Honorable    ・The Right Honorable    ・Sir / Madam

### (2) 用例

#### 特命全権大使

H.E. (Mr./Ms.) フルネーム

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of 国名

#### 大使夫妻

H.E. The Ambassador of 国名 and Mrs./Mr. 大使の姓名